

魅力と活力ある学校づくりに係る資料（令和3年度）

| | | | | | |
|----|---|-----|------------|------|-------|
| 学番 | 2 | 学校名 | 県立新潟中央高等学校 | 校長氏名 | 佐藤 一彦 |
|----|---|-----|------------|------|-------|

I 校長として目指している学校像

【教育目標】

- 1 学校教育に関する法規の定めるところに従い、国際的視野に立ち、社会の変化に主体的に対応できる能力と態度を育成する。
(Fostering the ability and attitude to take an initiative in responding to social changes from an international perspective in accordance with the regulations for education.)
- 2 心身の調和のとれた成長・発展を目指し、豊かな心でたくましく生きていくことができる人間を育成する。
(Aiming for growth and development that is in harmony with the body and mind, and raising young people with strong hearts full of passion for life.)

【学校運営方針】

- ・豊かな人間性をめざして高い知性と確かな学力を養い、進路目標の実現を図る学校
- ・自主性、責任感及び協調性を養い、挨拶を始めとする基本的な生活習慣を確立させることにより、明るく爽やかな生徒を育成する学校
- ・各学科、コースの特色を最大限に発揮し、調和のとれた活気溢れる学校



2年生探究学習発表会

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- (1) 生徒の実態に即した授業内容の改善とICT機器の積極的活用により、授業で生徒に夢と感動を与えることができる教師
- (2) 生徒のロールモデルとなる生き方を指向し、人間的に深みのある教師
- (3) 学校組織[チーム新潟中央]の一員として、自覚や矜持を持ち、生徒の為に積極的に行動する教師

III 魅力と活力ある学校づくりの取り組み

- (1) 学習指導、進路指導を充実させ、大学等進学達成率90%以上、就職率100%を目指す。
- (2) 総合的な探究の時間等を通じて、知識・技能、思考力・判断力・表現力及び学びに向かう力・人間性等の資質・能力を育成することで、自己と不可分な課題を発見し解決していく力等を養う。



バスケット北信越大会

- (3) 食物科の試食会、音楽科の演奏会、HP等を通して、生徒の活動を保護者や地域の方々に積極的に発信する。
- (4) 部活動の一層の活性化や中央祭、秋桜祭等により、豊かな人間性を育む。



ブルゴーニュ風牛頬肉
煮込み彩り野菜添え



卒業演奏会